

2024年度 第11回

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

(文部科学省/日本ユネスコ国内委員会 後援事業)

2024年度 助成校募集

申請期間:4月15日(月)~5月31日(金) (郵送・メール必着)

ぜひ地域の学校へプログラムをご案内いただき、 協働枠での応募もご検討ください

【お願い】 ○本事業につきまして、近隣の学校へご案内ください。
○「ユネスコ協会協働枠」での応募を近隣の学校へ働きかけ、学校と一緒に本事業への参加をご検討ください。

1. 「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」について

アクサ生命保険株式会社の協力を得て2014年に始まり、11回目を迎えます。東日本大震災の記憶を風化させずに、その教訓を生かして、災害時に地域の防災・減災活動拠点となる学校の「防災・減災教育」を支援します。将来、地域の防災リーダーとなり得る児童・生徒を育てる事業として実施し、今回、2024年度の助成校を全国より募集します。

【内容】 3つのプログラムで学校と地域の防災・減災教育を支援します。

- ①学校への助成金(一律10万円)支援、
- ②教員研修会(3日間・気仙沼市で開催)
- ③活動報告会・減災教育フォーラム(一般公開)(2日間・東京都で開催)
※②③について、旅費・宿泊費等は全額補助

2. ユネスコ協会協働枠について

助成校採用枠に「ユネスコ協会協働枠」を創設しました。ユネスコの理念を基盤に、学校と各ユ協・クラブが協働して地域ぐるみの防災・減災教育を推進するものです。学校単独での応募ではなく、学校と各ユ協・クラブと一緒に応募いただきます。この枠で応募した際は優先的な採用を配慮します。

<ねらい> 学校と地域のつなぎ役として、各ユ協・クラブの皆さまに防災・減災教育活動を支援いただき、ユースの育成と同時に地域の防災・減災力を高めること。

<考えられる協働例>

- 学校とユネスコ協会が連携して、地域や近隣の学校が合同で避難所運営・体験等の活動を行う。
- 学校とユネスコ協会と連携し、自治会などのサポートを得ながら児童・生徒が主体となりハザードマップを作成し、地域に発信する。
- ユネスコ協会主催のイベント等において、児童・生徒が防災・減災について学んだことを発信する。
- 近隣で防災・減災に取り組み方に悩んでいる学校と、すでに防災・減災に取り組んでいる学校やNGO/NPOを結びつける支援。 など

詳細、募集要項、申請書は、Webサイトでご覧いただけます。

(<https://www.unesco.or.jp/gensai/>) (ユネスコ 減災 で検索)

※募集要項、申請書は4/15(月)以降、ダウンロードいただけます。



←こちらからも
ご覧いただけます

【お問い合わせ先】 ※ユネスコ協会協働枠の詳細などについてはお問い合わせください。

日本ユネスコ協会連盟 学校支援部 減災教育担当 TEL:03-5424-1121 MAIL:gensai@unesco.or.jp



アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム 2024年度 助成校 募集

申請期間：4月15日（月）～5月31日（金）

防災・減災教育が変わる！！ 3つのプログラムで学校を支援

- ① 助成金支給（一律10万円・返還不要）
学校の防災・減災教育活動のための資金を支給します。
- ② 教員研修会（2泊3日 気仙沼市）
- ③ 活動報告会・減災教育フォーラム（1泊2日 東京都（予定））
※②③は助成校教員の参加必須。宿泊費・交通費等旅費は全額補助します。

【対象】防災・減災教育に取り組む全国の小・中・高校
（義務教育学校、特別支援学校等を含む）

【申請方法】郵送またはメール

※募集要項・申請書はホームページ（「ユネスコ 減災」で検索）
（<https://www.unesco.or.jp/gensai/>）
よりダウンロードください。 ※4/15(月)以降ダウンロードできます



こちらからも
ご覧いただけます

学校と地域が連携し、子どもたちが主体的に考え、災害から生き抜く力を育む
減災教育の理論や実践を学びます。ESD/SDGsの実践、探究学習にも役立ちます！

1人の先生が変われば100人の子どもが変わる。
地域の防災・減災を変えるのは学校と子どもたち。
教育から地域を変えていく。



【主催】公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

【協力】アクサ生命保険株式会社/奈良教育大学ESD・SDGsセンター

【プログラムコーディネーター/講師】及川 幸彦氏（奈良教育大学）

【後援】文部科学省/日本ユネスコ国内委員会

【お問い合わせ】日本ユネスコ協会連盟 学校支援部 TEL：03-5424-1121 MAIL：gensai@unesco.or.jp